

世の中の表と裏

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定指導室 資格検定NEWS



現実には矛盾するものが渾然とし、両義的なものであふれている。

ブレイディ みかこ
朝日新聞 3月14日
be on Saturday

傷つけ合うことと深く理解することが結びつく場合もある。他者が嫌いなのに他者を求める。

ブレイディ みかこ

万事に「表」と「裏」がある。とも言う。また一方で、「メビウスの輪」は表と思っていたものが裏に繋がっていたりする。

4月からの新学期に向けて、「よし。まずは資格を取ろう。そして、経験を積もう。」と考える人もいれば、「資格より、仕事ができるか、出来ないかだ。」と考える人もいる。

正解か不正解かの二者択一では測れない。何が「正義」で、何が「悪」かは様でない。

「懸濁合わせ飲む」は単なる方便か、人生をいく抜く知恵か。そもそも「懸濁」は誰が決めるのか。

そのな事を考えていたら、次の新聞記事が目に入った。『仏道を歩む身であるならば、酒を遠ざけねばならない。そんな戒律があっても、たしなむ僧は昔からいたようで「般若湯（はんにゃとう）」なる符丁で呼び習わされた。般若は「真理を見きわめる知恵」の意味があり、なかなかしやれた言葉である（朝日新聞3月15日 天声人語）』